

主体的に学び続ける児童の育成

～体育科における「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体として捉える単元デザインの確立を目指して～

鹿島市立古枝小学校

本校では、令和3年度まで「自ら進んで課題解決ができる児童の育成」を目指し、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の3つの柱でそれぞれの学びを実現するために有効な手立てを探ってきました。その蓄積に加えて令和4年度においては、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体として捉える授業づくりについて研究を深めていきたいと考えています。

研究の方法とイメージ ～「個別最適な学び」「協働的な学び」をいかに具現化していくか～

研究授業の実施（全学年）

『小学校体育指導ハンドブック』を参考に3つの視点から捉えた授業づくりを行います。

- 「学習カード」の工夫
- 「めあて・ふりかえり」のさせ方の工夫
- 「教材・教具」の工夫

主体的に学び続ける児童

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体として捉える授業づくり

令和3年度までの積み上げ

今年度の取組 ～ 授業実践より ～

○「学習カード」の工夫

学習カードは児童が自分のめあての達成に向け、見通しをもちながら学習に取り組むための手立ての一つです。「学習の個性化」を目指し、発達段階を踏まえつつ、児童にとって分かりやすい形式になるよう工夫をしています。4年生の授業では、自己評価を行う1つの手立てとして、チャートによる振り返りを取り入れました。「協働的に学ぶことができたか」という観点についても振り返ることができるよう工夫しました。（右資料は4年生の学習カード）

とび箱運動

月日	めあて①	めあて②	ふりかえり	自己評価
1	安定(5回連続)ふみ切り() 高さ()度			
2	安定(5回連続)ふみ切り()			
3				

⑤かかえこみとび

3
4
5
6

自己評価

楽しくできた

めあての達成 学び方

マット運動学習カード		
6時間でできるようにしたい技に○をつけよう！		
①前てん	②開きやく前てん	
③後てん	④開きやく後てん	⑤しんじつ後てん
⑥うで立て横とびこし	⑦そく方とう立回てん	
⑧かべのぼりさか立ち	⑨かべとう立	
⑩ブリッジ	⑪ほじょう立ブリッジ	
5/11(水)	今日の技	どのようにがんばる？
		ふりかえり

○「めあて・振り返り」のさせ方の工夫

単元を通してできるようにになりたいことにチェックをさせ、その達成に向けて毎時間のめあてを立てるようにしています。どのように頑張るかという視点を与えることで、児童自身が自らどのような方向性で学習を進めていったらよいかを考えていけるよう促しています。また、振り返りでは、自分の学びを見つめ直すと同時に、友達同士または学級全体で互いの工夫や気づきを交流し合います。このような「協働的な学び」を通して、考えを広げたり深めたりすることを大切にしています。（左資料は3年生の学習カードと振り返りの発表の場面）

○「教材・教具」の工夫

児童のめあての達成のためには、一人一人に応じた指導方法や学習の場の工夫が必要です。本校では、特に教材・教具等を工夫し、「指導の個別化」を目指しています。教師は、児童のめあてと活動の様子を見取りながら、適切な教材や教具を必要に応じて提示できるよう努めています。また、ICT機器を用いて互いの学習の様子を動画で記録させたり、模範の動きを電子黒板やパソコンで確認させたりするなど、ICTの効果的な活用についても研究を進めています。

（右資料は準備されたたくさんの教具を囲む1年生）



令和4年度 日本型学校体育構築支援事業(2年次)※旧名称:武道等指導充実・資質向上支援事業

公開授業の日時:11月18日(金) 「2年生 マット運動」 ※詳細は後日

